

# 太陽光発電設備対応絶縁抵抗計 MIS-PV1

特許出願中



## 太陽光発電に対応

P-N相を短絡する必要がなく、  
P-N相を開放した状態でも  
正確に測定できます

## 交流電路で使用可能

太陽光発電設備だけでなく  
交流電路でも500V/1000V  
メガーとして使えます

## 従来の絶縁抵抗計との違い

太陽光発電は日中は常に発電しており、絶縁抵抗測定は活線作業となり危険を伴います。太陽光発電設備の絶縁抵抗を安全に測定するためのガイドライン「日本電機工業会技術資料 小出力太陽光発電システムの保守・点検ガイドライン JEM-TR228」にはP-N相を短絡した状態で測定する方法とP-N相を開放した状態で測定する方法が書かれています。**P-N相を短絡した状態**で絶縁抵抗を測定する方法だと短絡用開閉器を別途設置する必要があり、さらに手順を誤ると**アークが発生する危険性**があります。また**P-N相を開放した状態**で従来の絶縁抵抗計を用いて測定する方法では絶縁状態が良い回路は測定できますが、絶縁劣化が進んだ回路では**正確に測定できません**。**MIS-PV1は上記の点を踏まえ開発された製品**で、P-N相を短絡する必要がなく、さらに絶縁劣化が進んだ回路でも**正確に測定することができる新しい絶縁抵抗計**です。

### 仕様

定格測定電圧	PVL (500V)	PVH (1000V)
有効最大表示値	100MΩ	2000MΩ
中央表示値	2MΩ	50MΩ
第一有効測定範囲	0.1MΩ以上50MΩ以下	2MΩ以上1000MΩ以下
許容差	±5%以下	
第二有効測定範囲	0.05MΩ~0.1MΩ 50MΩ~100MΩ	1MΩ~2MΩ 1000MΩ~2000MΩ
許容差	±10%以下	

表示	3200カウント液晶表示およびバーグラフ表示
表示範囲	3.200/32.00/320.0/3200 (4レンジオート)
最小分解能	0.001MΩ
その他機能	オーバーレンジ表示、データホールド、オートパワーオフ、バックライト、自動負荷放電機能
規格	JIS C 1302 準拠
使用温湿度範囲	0~40℃、80%RH以下 (結露なきこと)
電源	単3アルカリ電池×6
寸法・重量	170 (W)×105 (D)×52 (H) mm 約350g (電池含まず)
付属品	アースコード、ラインコード、コード収納ケース、ベルト、単3アルカリ電池×6

Let's Create  
New Concepts of Instruments

## MULTI マルチ計測器株式会社

本社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-26 秋葉原村井ビル7F  
TEL 03(3251)7013 FAX 03(3253)4278  
大阪事務所 〒567-0888 大阪府茨木市駅前3-2-2 晃栄ビル5F  
TEL 072(631)5708 FAX 072(631)5713  
野田工場 〒278-0005 千葉県野田市宮崎53-8  
TEL 04(7125)8853 FAX 04(7123)9488  
Homepage [www.multimic.com](http://www.multimic.com) E-mail [otoiawase@multimic.com](mailto:otoiawase@multimic.com)